



櫻井 啓一  
(自民党)

**郊外のコミュニティ維持の取り組みを**

**問** 人口減少と高齢化が進む中、特に市街化調整区域では、いかに居住を継続することができる環境をつくり、コミュニティを維持できるかが課題である。

**答** 市は、地域拠点や地域コミュニティの中心であり一定の基盤が整った小学校周辺で、地区計画制度の活用方針を示したが、制度の地域住民への理解促進や地区計画策定支援についてどのように取り組むのか聞く。

また、地域拠点では新たな居住支援策を推進すべきと考えるがどうか。

**答** 市では、地域拠点の利便性向上の取り組みに加え、小学校周辺のコミュニティ

を維持する制度の検討を進めている。地区計画制度を効果的に運用するため、地域別説明会や出前講座などを通して制度の理解促進に取り組む。また、職員による技術支援に加え、専門知識を持つアドバイザー派遣など、地区計画策定の支援制度を検討する。

居住支援策の推進については、田園居住を希望する方への定住支援など、地域拠点を中心としたコミュニティの維持・形成につながる居住支援策を検討する。

**その他の質問項目**



▲郊外の集落

- ①交通未来都市うつのみやの実現②スポーツの振興
- ③ beyond2020プログラムの文化の振興④高齢化社会を迎えた自治会活動⑤有害鳥獣被害対策とちぎの元気な森づくり県民税⑥冒険活動センターの土壌対策



舟本 肇  
(自民クラブ)

**駅東西を結ぶLRT整備 市長の決意と見通しは**

**問** 市長は、凍結となっていた新交通システムの見直しを再開させて以降、東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針などを策定し、市民の理解を得ながらLRT事業の具体化を着実に進めてきたと評価する。そうした中、全国初となる全線15キロ新設のLRT事業について国から軌道運送高度化実施計画の認定を受け、多くの市民がその実現に期待を寄せている。

そこで、LRTの整備について、改めての決意と今後の見通しを聞く。

**答** 宇都宮駅東側の優先整備区間については、事業スケジュールの精査を行

うとともに、工事施行認可の申請に必要な資料作成の最終段階に入っている。今後、これらが整いのうえ、工事施行認可の申請を行うなど、整備に向け着実に取り組んでいく。西側の整備は、ルートや導入空間などの検討を行っており、29年度末を目途に整備概要を取りまとめる。

LRTの整備は、境界を始め、多方面から期待を示す声をいただいている。こうした声を原動力に、百年後の都市の繁栄を実現するため、不退転の決意でLRTの整備に向け、全力で取り組んでいく。



▲フランスのLRT

**その他の質問項目**

- ①自転車のまち宇都宮②今後の市営住宅の整備の考え方③ふるさと納税④マイナンバーカードの普及とマイナンバーカードを活用した地域経済応援ポイント導入による消費拡大方策⑤教育行政(貧困による教育の格差の解消など)



福田 智恵  
(市民連合)

**ワーク・ライフ・バランスを推進し働き方改革を**

**問** 少子高齢化が経済の重荷となっている今、これから激増する介護と労働の問題や真に有効な少子化対策は急務である。ワーク・ライフ・バランスの推進をはじめ、男女共に働く、短時間で働く、年齢や難病や障がいなどが障壁とならない環境の整備が求められており、経済団体や企業とともに、早急に、少子高齢化に合致した働き方改革を進めるべきでは。

魅力ある職場づくりを推進するため、現在、とちぎ公労使協働宣言実現会議において、国をはじめ、行政、経営者、労働者が一体となって長時間労働の抑制や女性の活躍推進など、職場の様々な問題の解決に向け取り組んでいる。引き続きこれらの機関と協力、連携しながら働き方改革の推進など、労働環境の向上に努めていく。

**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢(人口減少社会の全庁的な認識と施策の横断的な実施など)②地域包括ケアシステムと介護予防・日常生活支援総合事業③ライフステージを通じた予防と健康づくり④空き家の活用⑤生活困窮者の自立支援⑥中小企業振興条例の制定⑦教育行政

※1市街化調整区域…市街化を抑制する区域で、優良な農地や緑地・森林・河川などの保全を図る地域  
 ※2地域拠点…郊外部地域でコミュニティの中心的な役割を果たしてきた拠点(篠井・富屋・国本・城山・豊郷・横川・平石)